

報道関係各位

令和5年6月28日
横浜信用金庫

《よこしん》景気動向調査結果について

—2023年4～6月期実績、7～9月期予想—

横浜信用金庫（理事長 大前 茂）では、定例（四半期）の「景気動向調査」を実施いたしました。調査結果の概要は以下のとおりです。

【業況判断D I】全業種総合業況判断D Iは改善が継続、来期も改善が継続する見込み

- 今期（2023年4～6月期）の全業種総合業況判断D Iは、前期比1.7ポイント上昇の4.4と改善した。来期は、今期比1.1ポイント上昇の5.5を見込んでいる。
- 製造業の今期業況判断D Iは、前期比0.9ポイント上昇の3.5となった。来期は、今期比2.2ポイント上昇の5.7を見込んでいる。
- 非製造業の今期業況判断D Iは、前期比1.5ポイント上昇の4.2となった。来期は、今期比横ばいの4.2を見込んでいる。

【特別調査】「アフターコロナと中小企業」

- | | | |
|--------------------------|--------|--------------------------|
| ・賃上げや一時金の支給状況 | 賃上げ | 賃上げは実施していない（68.5%） |
| | 一時金の支給 | 一時金は支給していない（88.7%） |
| ・原材料・仕入価格の上昇分の販売価格の転嫁 | | やや転嫁できている（50.4%） |
| ・電力・エネルギーの上昇分の販売価格の転嫁 | | 転嫁できていない（46.9%） |
| ・新型コロナウイルス感染拡大前と比べた現在の売上 | | ほぼ変わらない（90%～110%）（40.4%） |
| ・3～5年後に向けた事業展開 | | 現在の事業を現状のまま継続したい（32.2%） |
| ・人材確保のための施策 | | 特にない（37.1%） |

＜調査概要＞

調査対象：当金庫取引先（法人・個人事業者）678先 有効回答数：676先

調査方法：営業店職員による聞き取り調査 調査時期：令和5年6月上旬

※その他詳細につきましては、「《よこしん》HP⇒法人のお客さま⇒景気動向調査」をご覧ください。

以上

== お問い合わせ先：経営企画部 萩原・高橋（電話：045-680-6912） ==



横浜信用金庫